

## 令和5年度 第2回 西蒲区地域公共交通に関する意見交換会 会議概要

### 1. 開催日時

令和6年3月25日（月） 午前10時10分～午前10時40分

### 2. 会 場

新潟市西蒲区役所3階 302会議室

### 3. 出席者（敬称略）

#### 【委員等】

会 長

新潟市西蒲区地域総務課 課長 高橋 裕

副会長

国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 運輸企画専門官 山岸 拓人

関係住民代表

巻地区コミュニティ協議会 会長 五十嵐 光一

峰岡地区コミュニティ協議会 会長 上原 一茂

松野尾地域コミュニティ協議会 会長 山賀 栄一

角田地区コミュニティ協議会 会長 山下 利諭己

関係一般乗合旅客自動車運送事業者

ウエスト観光バス株式会社 専務取締役 小林 大輔

新潟県ハイヤー・タクシー協会地区協会代表

弥彦タクシー株式会社 営業所長兼部長 三富 俊延

関係道路管理担当課長

新潟市西蒲区建設課 課長補佐 児玉 幸雄

#### 【事務局】

西蒲区地域総務課 3名

#### 【傍聴者】

1人

### 4. 会議概要

#### (1) 開会

○事務局から本会議の位置付けについて説明。

- ・本会議は新潟市地域公共交通会議規則第6条第2項に基づき、新潟市地域公共交通会議で審議する事項について、意見交換するもの。

- ・今回は、路線バス「巻～松山～角田線」の事業者変更に関し意見交換を行う。
- ・本会議の内容は、新潟市公共交通会議に協議する際に地域の実情として報告する。

## (2) 意見交換

### 【説明】

- 事務局から「(1) 路線バス（巻～松山～角田線）」運行計画について説明。

### 【質疑・意見】

- 角田線の現在の利用状況について

- ・最大でどの位乗車しているのか（関係住民団体）  
⇒朝と夕方の便で、通学の関係で利用者が多く、特に7時台の通学時間帯は30人前後利用している（事務局）

- 現在運行している角田発の始発便について

- ・利用人数と、利用者がどこで降車するか教えてほしい（関係住民団体）  
⇒平均乗車数は1人で、巻駅まで利用している。（事務局）

- 大雪などによりダイヤが乱れた場合の対応

- ・大雪などにより、バスが遅れるなど、ダイヤが乱れた場合、子ども達に速やかに伝達できるよう仕組みを構築してほしい。（関係住民団体）  
⇒運行事業者・学校と連携し対応方法を検討したい。

- 車両について

- ・小型バスが運行している時間帯で、生徒が乗れないことがあった。そのようなことが起こらないようにしてほしい（関係住民団体）  
⇒55人乗りの中型バスを2台で回すので、乗れないことはないと思う。（事務局）

- 定期券の購入先について

- ・定期券の購入場所はどこになるのか。また、購入場所まで買いに行かないといけないのか。できれば、巻駅前のコンビニや巻駅などで販売するようにしてほしい。（関係住民団体）  
⇒バス車内で販売するようにしたい。事前に電話で連絡をいただき用意させていただく予定である。（ウエスト観光バス株式会社）

### (3) その他

#### ○高速バスについて

- ・巻から高速バスを利用する場合、巻駅からバスに乗り込み、巻潟東インターで降車し、高速バスに乗り込むことになる。そうするとバスを2回使うので、運賃を多く払うことになる。乗り換えなどを証明することにより、高速バス代などの運賃を割り引きできないか。(関係住民団体)

⇒高速バスは、複数の交通事業者により運行されているので、ご提案の手法は難しいと考える。高速バス会社による協議会があるので、ご意見を伝えていく。

#### ○タクシーの利用について

- ・タクシー会社からも小型車両を活用し、できることを検討してほしい。(関係住民団体)

⇒タクシーも2024年問題などで運転手不足が課題である。高齢者世帯が増え、何かできることはないか検討しているが、運転手がいらない。また、料金面も検討する必要があるが、燕市のような通院助成券があれば、弱者救済につながるのではないかと思う。(弥彦タクシー株式会社)

#### ○ライドシェアと自動運転について

- ・ライドシェアの導入を検討してはどうか。(関係住民団体)

⇒4月から一部解禁されるとのことだが、具体的な内容について国などの動向を探っている。(事務局)

⇒弥彦村・佐渡市の自動運転について情報提供。(運輸支局)

- ・弥彦村で自動運転を実施している。レベル2では、人件費削減にはつながらない。レベル4で運行しないといけない。あと5年もすれば、レベル4が普及する。早めに検討する必要がある。(関係住民団体)

#### ○ボランティアの活用について

- ・ボランティアを活用した運行も検討した方がよい。(関係住民団体)

⇒ボランティア(団体・人)を活用した手法については、公共交通をカバーできる手法として期待できるので、新潟市都市交通政策課に意見として伝えたい。また、西蒲区でも今後検討していきたいので、その際は、コミュニティ協議会に相談させていただきたい。(事務局)

### (4) 閉会

以上